八戸市保健所のHIV検査

2025年10月11日 八戸市保健所 工藤 雅庸 1. 施策としての位置付け

2. 八戸市保健所のHIV検査

3. 検査件数と受検者の属性

4. 高校生の検査

5. AIDS/HIV陽性の発生届例

1. 施策としての位置付け

保健所での匿名HIV検査

1987年(昭和62年) 開始. 抗HIV-1抗体検査. 匿名•有料.

1993年(平成5年) 無料化. 背景にHIV/AIDSに対する社会的情勢.

健医発406号(厚生省).

「保健所におけるエイズストップ作戦関連事業について」 HIV-2抗体も同時に実施.

2004年(平成16年) HIV即日検査開始.

2006年(平成18年) 6月第1週を「HIV検査普及週間」に設定 国民にHIV受検を呼びかけ

2024年(平成24年)

後天性免疫不全症候群に関する特定感染症予防指針 (厚生労働省告示第21号 平成24年1月19日) 「検査・相談体制の充実」が、「普及啓発および教育」、 「医療の提供」とともに重要施策の一つに位置付け

準拠するガイドライン

保健所等における HIV検査・相談のガイドライン (第5版, 令和6年3月版)



厚生労働科学研究責補助金エイズ対策政策研究事業 HIV検査体制の改善と 効果的な受給勧奨のための研究

https://www.hivkensa.com 研究代表者 今村 關史 (東京都立與込病院) 研究分担者 土屋 菜多 (東北大学)

保健所等における HIV検査・相談のガイドライン

(旧:保健死等におけるHIV部日検査のガイドライン

第5版(令和6年3月版)

利用される皆様へ

本ガイドラインは、厚生労働科学研究養権助金による"HV 核査相談体制の充実と活用に関する研究"部のガイドライン 作成委員会が平成16年3月に第1版を作成し、平成24年3 月の改訂第3版まで発行されました。平成31年3月に約今前 を引き継いだ"HV検査受検助契に関する研究"類が弾4版を 作成しました。即日核査普及の目的で作成"改訂されてきたガイドラインですが、広くHIV検査・報談に関わる自治体や優保 機関の担当者に使用いただきたく、このたびタイトルを含め 内容の見直しをおこない、本研究班より「保健所等における HV検査・相談のガイドライン」として発行することとなりました。HV検査・中に関する情報を更新し、近年増加している 掲載の検査についての情報や新たな予防の概念についての 情報や追加しておきます。今後も検査・相談実施機関の意見 を反映に、開始改訂版を作成し公表する予定です。

2. 八戸市保健所のHIV検査

八戸市保健所でのHIV検査の流れ

検査の予約

- エイズ専用電話またはネットで検査の予約を受け付けます。
- ・HIV感染初期には、検査では分からない時期(ウィンドウ期)があるため、 **感染の可能性のある機会から3ヵ月以上たってからの**検査をすすめます。

検査当日の 相談 (保健師)

採血・検査 (看護師・保健師)

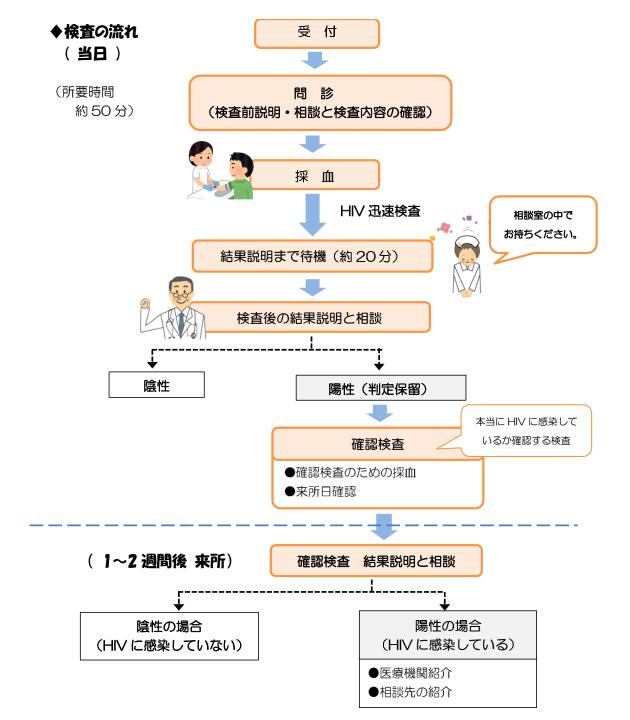
結果説明と 検査後の 相談 (所長)

- ・検査当日、受付後に相談票を記入してもらい、問診をします。 接触状況や既往歴、症状の有無など確認し、相談に乗ります。
- H I V検査の他、"梅毒" "クラミジア"も合わせて検査することができるため、希望を確認します。
- 少量の血液を採って、キットで迅速検査を行います。 (約20分で判明)
- ・所長より結果説明をします。「陰性」と確認された場合→その日に陰性と結果が分かります。「陰性」と確認できなかった場合
 - →<u>確認検査が必要</u>となります。再度採血をして検査機関に送り、 後日(2週間後)、検査結果を説明します。

※梅毒・クラミジアの検査は、後日(1~2週間後)、来所または電話で、検査結果を説明します。

- ·八戸市HIV等検查·相談事業実施要領
- ・毎月2回,第2・第4木曜日の午前 (八戸市ウェブサイト内に記載)
- ・インターネット予約5枠(八戸市ウェブサイトから予約) 電話予約1枠 (エイズ専用電話,八戸市ウェブサイト内に記載) 八戸市民でなくとも申し込み可能
- 担当課:保健予防課 感染症対策グループ

検査のフローチャート (受検者に配布)



八戸市ウェブサイト



▶ 組織から探す → 施設を探す 文字サイズ 標準 拡大 背景色変更 黒 青 白

暮らし・手続き

健康・福祉

子育て・学校

文化・スポーツ

事業者向け

ħ

🏴 現在の位置

<u>ひと・産業・文化が輝く北の創造都市 > 健康・福祉 > 健康・医療 > 八戸市保健所 > 感染症</u> > エイズ相談・HIV検査

エイズ相談・HIV検査

更新日:2025年08月21日



🤼 HIV・エイズとは

エイズ(AIDS:後天性免疫不全症候群)とは、HIVウイルス(ヒト免疫不全ウイルス)の感染により免疫機能が低下し、健康時には抑えられていた病原性の弱い微生物やウイルスが暴れだし、さまざまな病状が現れ「日和見(ひよりみ)感染」などを起こした状態です。

HIVに感染しても、はじめのうちは症状がないことが多いです。症状がない状態(無症候性キャリア)が長い間続くため、この間に無防備な性行為などによって他人に移す可能性があります。さらに免疫が弱くなると、いくつかの日和見感染などをおこし、「エイズを発症」します。

Google 提供

感染症

<u>感染症况</u> 届出

感染症サ

▶ ステムの て【医療

社会福祉

▶ 感染症発

• 予約方法(事前予約制)

予約は、検査日の1か月前から開始します。

1. WEB予約(24時間受付)



2. エイズ専用電話 0178-38-0718 (平日8:15~17:00受付)

• キャンセル・変更について

キャンセルや遅刻する場合は、必ずご連絡ください。 連絡なしに10分以上遅れた場合は、当日検査ができない場合がございます。

【キャンセル方法】

- 1. キャンセル受付専用フォーム(検査前日まで)
- 2. エイズ専用電話 0178-38-0718 (平日8時15分~17時)

青森県ウェブサイト



現在の位置:ホーム > 組織でさがす > 健康医療福祉部 > 保健衛生課 > 相談・検査(青森県 STOP AIDS)

関連分野: 保健衛生

更新日付:2025年4月1日 保健衛生課

相談·検査(青森県 STOP AIDS)

保健所における相談・検査

HIV・エイズ、性感染症の検査・相談について

インターネットによる検査予約はこちらのページから

HIV(エイズ)検査は、血液中の抗体の有無などにより、HIV(ヒト免疫不全ウイルス)に感染しているかど

チャット ボットに 質問する

インターネット予約(エイズ・性感染症検査)

県内の保健所では、インターネットによる検査予約を受け付けています。

検査を希望する保健所の日程(○月、▲~▲月等)をクリック すると、予約画面にリンクします。

最寄りの保健所に限らず、 どこの保健所でも検査を受けることができます。

№令和7年度検査日程一覧表[85KB]

- 青森県東津軽保健所令和7年度□ 4~6月、□7~9月、□10~12月、□1~3月
- 青森県中南保健所○ 令和7年度□ 5月、□ 6月、□ 7月、□ 8月、□ 9月、□ 10月、□ 11月、□ 12月、□ 1月、□ 2月
- 青森県三戸保健所令和7年度□ 4~5月、□ 6~7月、□ 8~9月、□ 10~11月、□ 12~1月、□ 2~3月
- 青森県西北保健所 令和7年度 □ 4月、□ 5月、□ 6月(特設日)、□ 6月、□ 7月、□ 8月、□ 9月、□ 10月、□ 11月、□ 12月、□ 1月、□ 2月、□ 3月
- 青森県上北保健所 令和7年度 □ 4月、□ 5月、□ 6月、□ 7月、□ 8月、□ 9月、□ 10月、□ 11月、□ 12月、□ 1月、□ 2月、□ 3月
- 青森県下北保健所 令和7年度 □ 4~6月、□ 7~9月、□ 10~12月、□ 1~3月
- 青森市保健所令和7年度□ 4月~3月
- 八戸市保健所令和7年度□ 4月~3月

各保健所のホームページは、こちらから

県内各保健所所での検査予約ができます

HIV迅速検査キット:

ダイナスクリーンHIV Combo (アボット ダイアグノスティクス メディカル株式会社) 抗原抗体検査(第4世代)キット

測定方法(スクリーニング検査)

ダイナスクリーン HIV Combo の測定方法

操作方法

血清・血漿



検体を滴下し、 静置する

血清 - 血漿50 uLを 検体滴下部位に滴下 後、20分間静置して ください。

全



1. 検体を滴下する

全血50 // Lを検体適下部 位に滴下して、染み込む まで1分間静置します。

専用キャビラリーを使用 した場合は、採取した血 液を全て吸収させ、時間 を置かずに次のステップ に移ってください。

血



2. 静置する

全血展開液を1濃滴 下して、19分間静置 してください。

専用キャビラリーを 使用した場合は、検 体滴下後20分間静 置してください。

判定方法

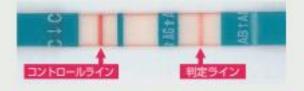
コントロールラインの出現を確認後、赤色の判 定ラインを確認してください。

抗原判定窓または抗体判定窓に赤色のラインが 出現していれば陽性です。

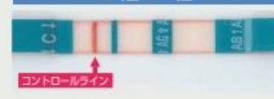




① 抗体陽性

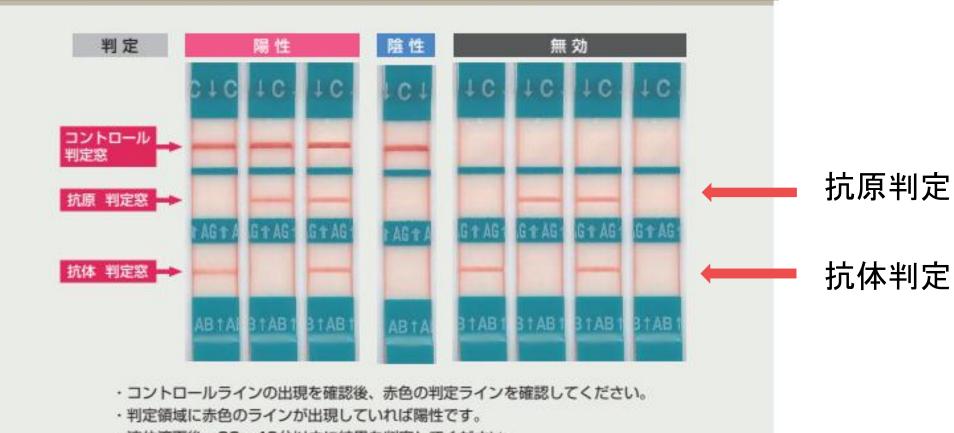


⊖陰 性



判定方法

ダイナスクリーン HIV Combo における判定ラインの出現パターン



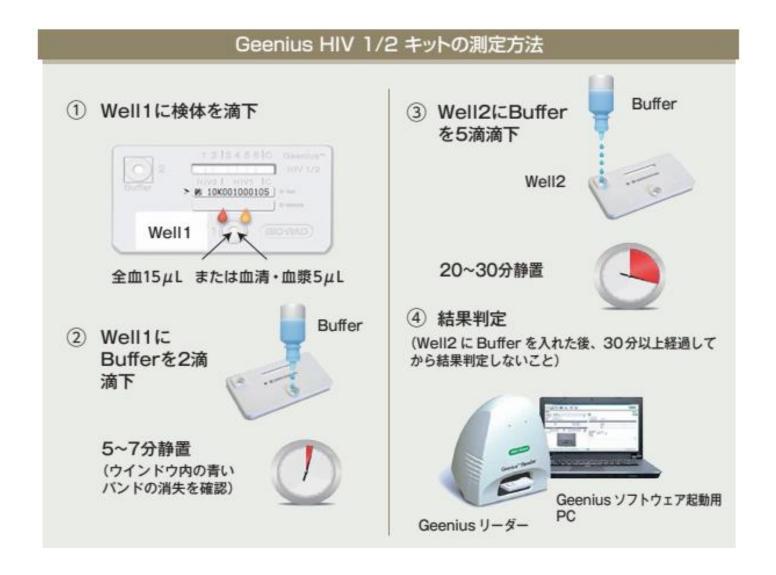
・液体滴下後、20~40分以内に結果を判定してください。

※判定の赤色ラインが極めて薄い場合でも、HIV感染初期の可能性もあることから、 必ず確認検査を実施すること。

確認検査キット(外注検査):

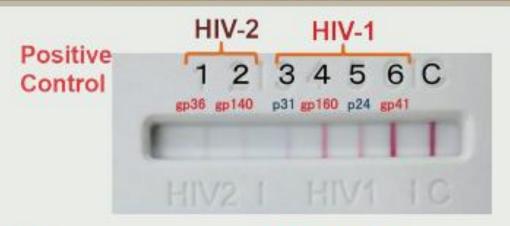
Geenius HIV 1/2 キット (バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社) イムノクロマトグラフィー法 一つのデバイスで抗HIV-1抗体と抗HIV-2抗体の 両方が判定可能

測定方法(確認検査)



判定方法

Geenius HIV 1/2 キットの結果判定基準



HIV-2判定基準

判 定	解釈
HIV-2 陽性	バンド1(gp36)、 バンド2(gp140)の2本 すべてのバンドが出現
HIV-2 陰性	バンド1,2のすべてが 出現なし
HIV-2 判定保留	バンド1,2のどちらか 1本のみ出現

HIV-1判定基準

判定	解釈
HIV-1 陽性	バンド3,4,5,6のうち、4(gp160) あるいは6(gp41)いずれかを含む 2本以上のバンドが出現
HIV-1 陰性	バンド3,4,5,6のすべてが出現なし
HIV-1 判定保留	1本のENVバンド(バンド4あるいは6) 1本のGAGバンド(バンド5) 1本のPOLバンド(バンド3) 1本のGAGバンドと1本のPOLバンド

受検者の動線

【入口】



【受付】

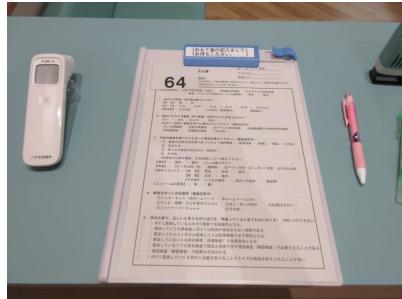








- ・問診票
- ・番号札







【問診室】



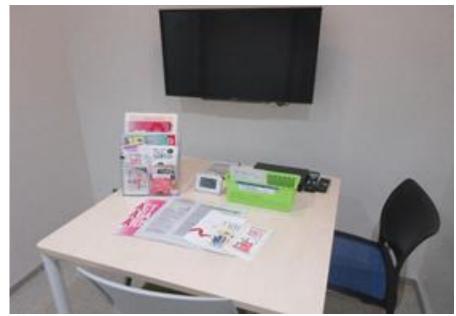
【問診室】 受検者側 からみた 様子



【採血室】



【待合室】



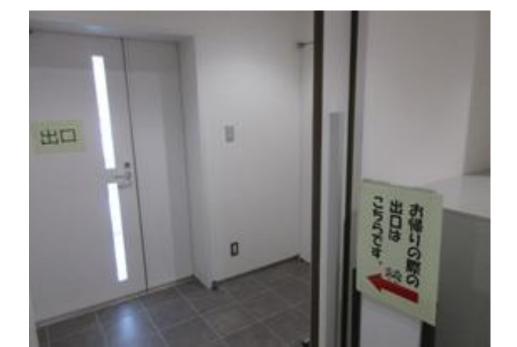
【待合室用 普及啓発資材】



【診療室】 結果告知 スペース



【出口】



3. 検査件数と受検者の属性

2017年(平成29年)以降,確認検査陽性例は2例

平成29年度, 20歳代男性1例

平成30年度, 20歳代男性1例

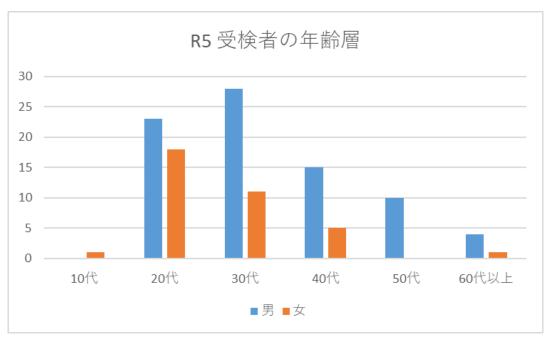
直近の検査数と受検者の属性

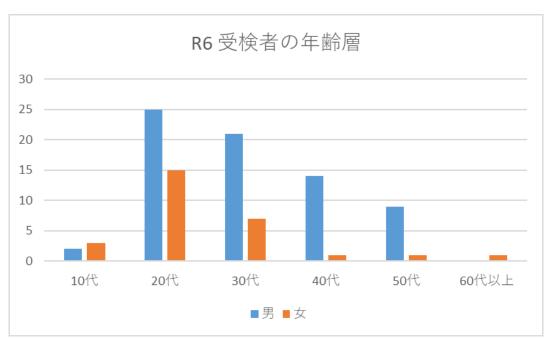
検査数 令和5年度,116名. 令和6年度,99名.

全例でスクリーニング検査は陰性で、確認検査例はなかった.

属性 問診票に記載(イニシャル, 年代) 答えにくい質問は空欄でもOK

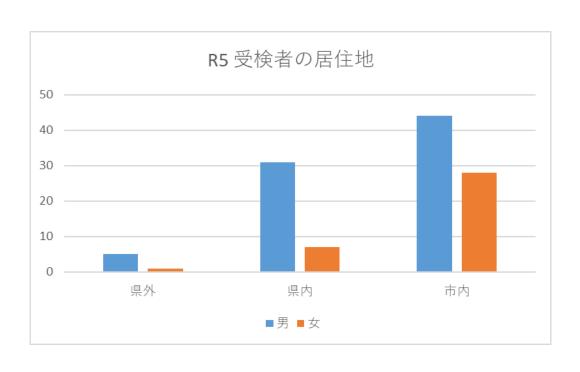
年齢階層別の受検者数

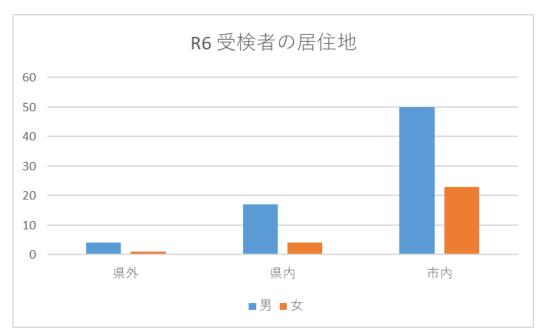




男女とも20代・30代が多い

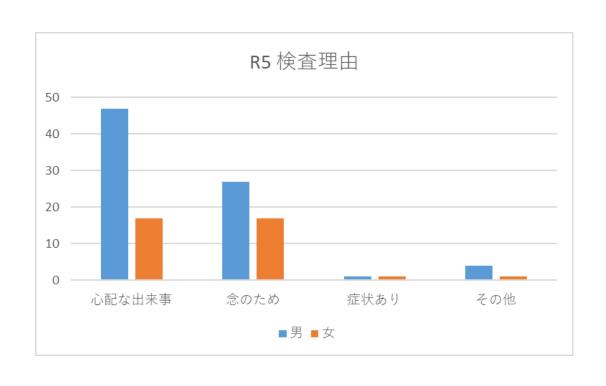
受検者の居住地

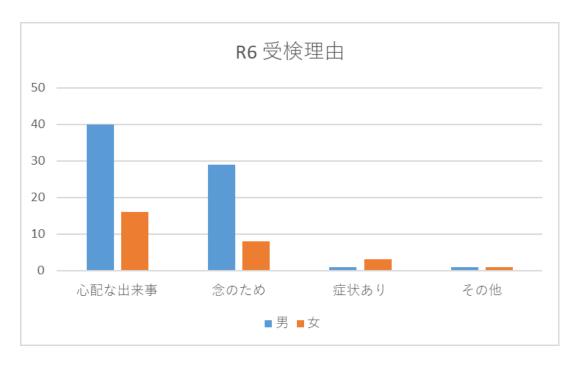




八戸市外からも受検 (男性の30~40%, 女性の20~30%)

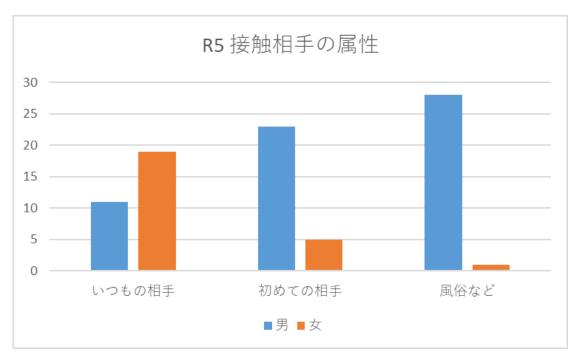
検査を受けた動機

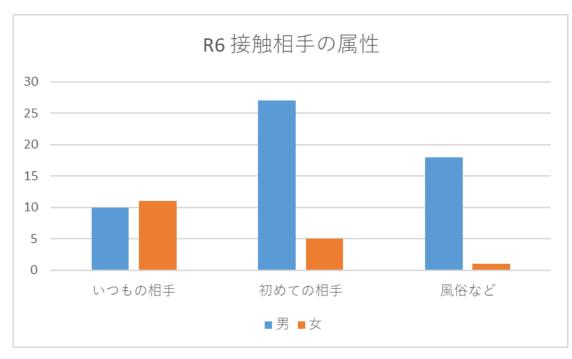




「心配なイベントがあったから」が過半数

イベント時, 相手の属性



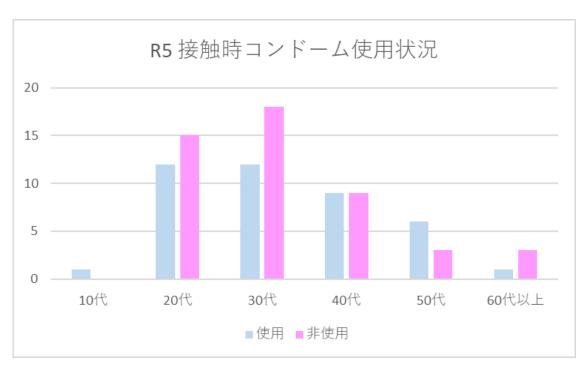


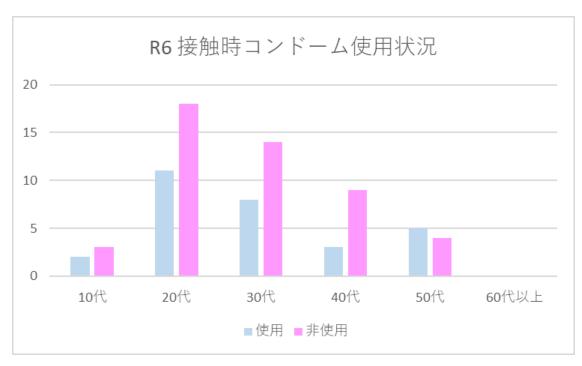
無回答 29

無回答 27

男性は、「風俗など」の割合が高い

イベント時、男性のコンドーム使用状況





無回答 27

無回答 22

イベント時、男性のコンドーム非使用が過半数

4. 高校生のHIV検査

事例

16歳男性の検査相談

親権者からの電話相談で、本人との直接のやり取りはなし

当所からの提案:

結果説明時に親権者が同席

→親権者は同意.本人の意向は確認し得ず.

検査予約をとったが、結局来所しなかった.

高校生の検査

高校生本人から検査希望の連絡があったらどうしよう? インターネット予約もできるし…

検査の匿名性を保持するなら、受検者が単独で来所、結果説明時も単独でいいのだろうか?

もしもスクリーニング検査が陽性なら、 確認検査結果説明時に親権者にも同席してもらうよう提案?

確認検査陽性例を確実に医療につなげるためには、 親権者の理解と協力が望まれる.

5. AIDS/HIV陽性の発生届例

保健所での検査を経ずに市内医療機関から 提出されたAIDS/HIV感染症発生届

令和2年~令和5年 6例

令和2年度 40歳代男性 ニューモシスチス肺炎

令和3年度

30歳代男性 HIV感染症(無症候性キャリア)

20歳代男性 HIV感染症(無症候性キャリア)

令和4年度 50歳代男性 サイトメガロウイルス感染症

令和5年度

40歳代男性 ニューモシスチス肺炎

60歳代男性 ニューモシスチス肺炎

多くは初診時AIDSの症例 今後、保健所での検査がHIV治療の早期化につながると期待

まとめ

- ・八戸市保健所では、設置された平成29年より、 HIV無料・匿名検査相談を行っている.
- ・検査数は年間100件余りで、これまで2例の 確認検査陽性例を経験している.
- ・依然として初診時AIDSの症例がある. 今後、保健所での検査がHIV早期治療とAIDS発症例減少に つながることを期待したい.



御清聴ありがとうございました